

日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

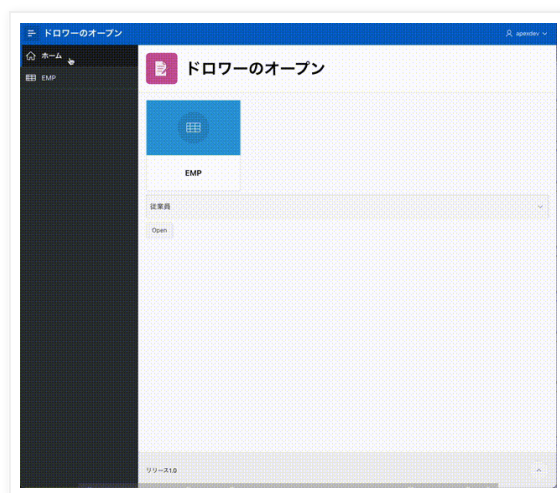
2023年6月7日水曜日

ページをリダイレクトしてダイアログまたはドロワーを直接開く

モーダル・ダイアログまたはドロワーは、レポートのページなどが開かれている状態から、そのページに重なるように表示されます。そのため、基となるページが必要で、他のページからリダイレクトする宛先にモーダル・ダイアログやドロワーのページを指定することはできません。

ドロワーを開く基となるページをリダイレクトの宛先として、その宛先に渡した引数を元にドロワーを開く実装を行なってみます。

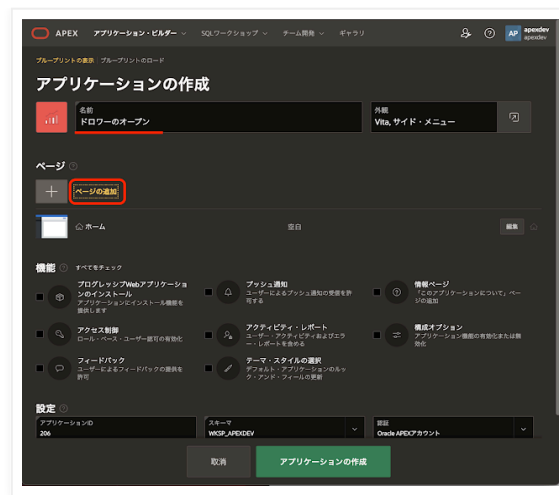
以下のように動作します。



実装には、**サンプル・データセット**のEMP/DEPTに含まれる表EMPを使います。

アプリケーション作成ウィザードを起動します。名前は**ドロワーのオープン**とします。

ページの追加をクリックし、表EMPをソースとした対話モード・レポートとフォームのページを追加します。



対話モード・レポートを選択します。

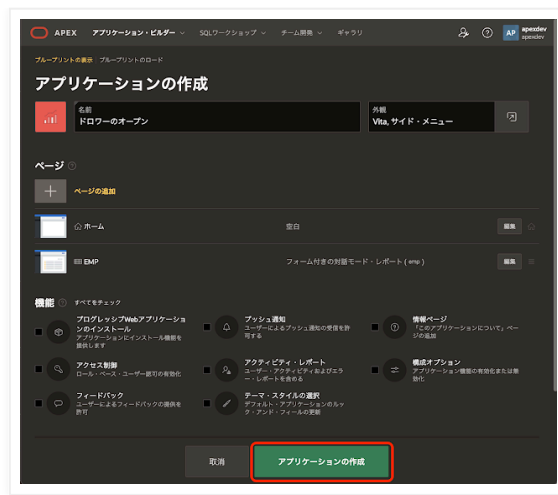


ページ名はEMPとし、表またはビュー、対話モード・レポートを選択します。表またはビューにEMPを選択します。フォームを含めるにチェックを入れます。

ページの追加をクリックします。



以上で、アプリケーションの作成を実行します。

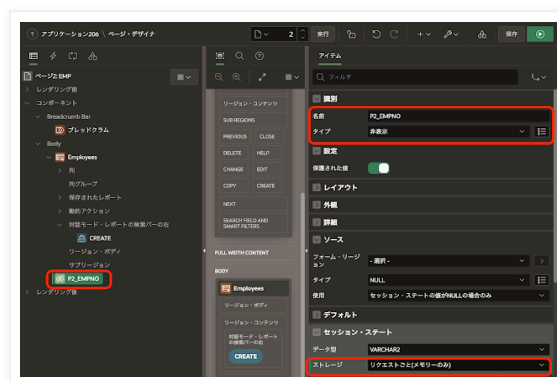


アプリケーションが作成されたら、リダイレクトの宛先となる対話モード・レポートのページ（ページ番号2）を、ページ・デザイナーで開きます。

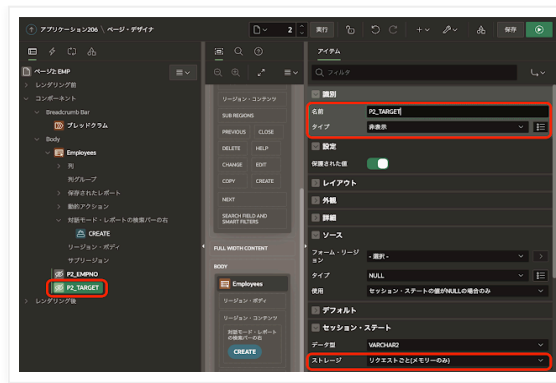


リダイレクト時の引数となるページ・アイテムP2_EMPNOを作成します。P2_EMPNOに指定されている従業員をドロワーで開きます。

識別の名前はP2_EMPNO、タイプは非表示とします。セッション・ステートのストレージにリクエストごと(メモリーのみ)を選択します。



オープンするドロワーを指すURL（実際にはJavaScriptのコード）を保持するページ・アイテムP2_TARGETを作成します。タイプは非表示、セッション・ステートのストレージはリクエストごと(メモリーのみ)です。



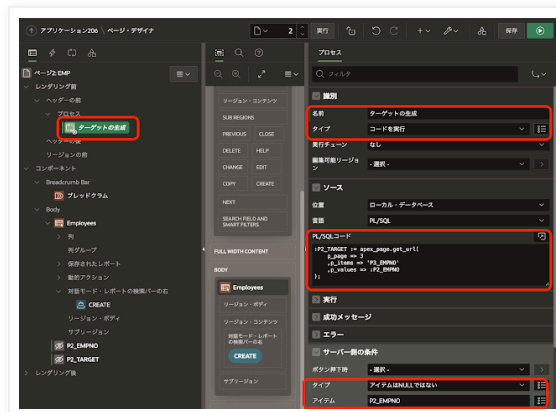
引数P2_EMPNOの値より、ターゲットとなるURLを生成します。

レンダリング前にプロセスターゲットの生成を作成します。タイプとしてコードを実行を選択します。

PL/SQLコードとして以下を記述します。p_pageにダイアログまたはドロワーのページが指定されている場合はURLではなく、JavaScriptのコードが返されます。

```
:P2_TARGET := apex_page.get_url(
  p_page => 3
  ,p_items => 'P3_EMPNO'
  ,p_values => :P2_EMPNO
);
```

サーバー側の条件のタイプにアイテムはNULLではないを選択し、アイテムとしてP2_EMPNOを指定します。引数P2_EMPNOに値が渡されているときに限り、P2_TARGETの値を設定します。



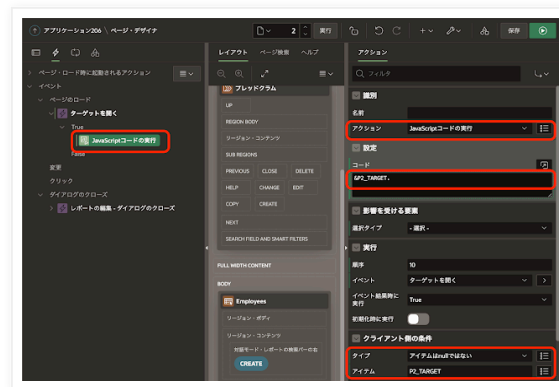
ターゲットとして生成されたJavaScriptを実行し、ドロワーを開く動的アクションを作成します。

動的アクション・ビューを開き、ページのロードに動的アクションターゲットを開くを作成します。



TRUEアクションとしてJavaScriptコードの実行を選択し、設定のコードに&P2_TARGET.を記述します。

クライアント側の条件のタイプとしてアイテムはnullではないを選択し、アイテムにP2_TARGETを指定します。P2_TARGETに値がない場合は、対話モード・レポートが表示され、ドロワーは開きません。



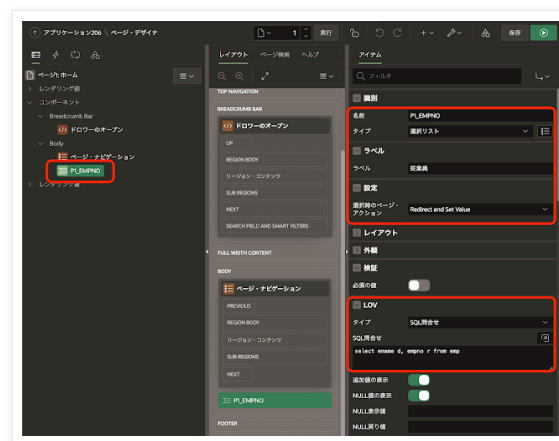
以上でドロワーを開く設定ができました。

ページ・デザイナーでホーム・ページを開き、直接ドロワーを開く機能を実装します。

従業員を選択するページ・アイテムP1_EMPNOを作成します。識別のタイプとして選択リストを選びます。ラベルは従業員とします。設定の選択時のページ・アクションとしてRedirect and Set Valueを選択します。

LOVのタイプとしてSQL問合せを選択し、SQL問合せに以下を記述します。

```
select ename d, empno r from emp
```

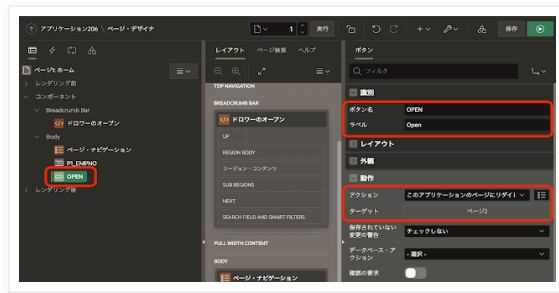


詳細の保存されていない変更の警告として無視を選択します。選択時のページ・アクションがRedirect and Set Valueのときは、ページ・アイテムの値が変更された後にリダイレクトが発生するため、必ず警告が表示されます。警告が表示されないよう、この属性に無視を設定します。



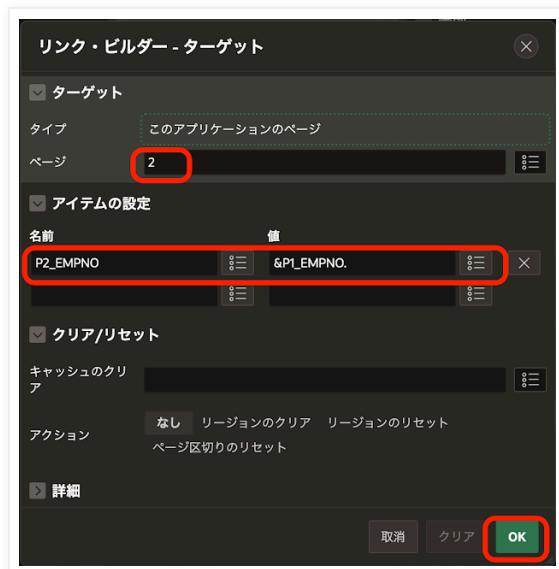
ドロワーを開くボタンを作成します。

識別のボタン名をOPEN、ラベルをOpenとします。動作のアクションとしてこのアプリケーションのページにリダイレクトを選択します。



ターゲットをクリックし、リンク・ビルダーを開きます。

ターゲットのページは対話モード・レポートのページである2（ドロワーのページではありません）、アイテムの設定として名前にP2_EMPNO、値に&P1_EMPNO.を設定します。



以上でアプリケーションは完成です。

今回作成したアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。

<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/open-drawer-on-page-redirect.zip>

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.
